

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）について

栃木県教育委員会事務局義務教育課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年、
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

(3) 調査の内容

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
- ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととしている。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

(4) 調査実施日 令和5（2023）年4月18日（火曜日）

(5) 調査を実施した学校・児童生徒数

学 年	実施校数	内 訳	児童生徒数
小学校6年	341校	小学校・義務教育学校 338校 特別支援学校小学部 3校	15,162人
中学校3年	155校	中学校・義務教育学校 152校 特別支援学校中学部 3校	14,759人
全 体	496校		29,921人

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

ア 平均正答率

(単位：%)

学年	項目	県・全国 (公立)	国語	算数・数学	英語
小学校 6年	設問数		14	16	
	平均	本県	67	63	
	正答率	全国	67.2	62.5	
中学校 3年	設問数		15	15	17
	平均	本県	70	50	44
	正答率	全国	69.8	51.0	45.6

※ 文部科学省では、全国平均正答率を小数値、各都道府県の平均正答率を整数値で公表している。

イ 学習指導要領の内容・領域別の平均正答率

① 小学校6年 国語

(単位：%)

学習指導要領の内容		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (5問)	70.7 (71.2)	-0.5
	(2) 情報の扱い方に関する事項 (2問)	63.1 (63.4)	-0.3
思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと (3問)	73.4 (72.6)	0.8
	B 書くこと (1問)	27.3 (26.7)	0.6
	C 読むこと (3問)	72.2 (71.2)	1.0

【全国の結果との比較】

・ 「思考力、判断力、表現力等」の全ての内容について、全国平均正答率を上回っている。

② 小学校6年 算数

(単位：%)

学習指導要領の領域		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
A	数と計算 (6問)	66.9 (67.3)	-0.4
B	図形 (4問)	49.6 (48.2)	1.4
C	変化と関係 (4問)	69.4 (70.9)	-1.5
D	データの活用 (3問)	66.9 (65.5)	1.4

【全国の結果との比較】

・ 「図形」と「データの活用」の2領域において、全国平均正答率を上回っている。

③ 中学校3年 国語

(単位：%)

学習指導要領の内容		本県 (全国)	全国との差 (ポイント)
知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2問)	69.3 (67.5)	1.8
	(2) 情報の扱い方に関する事項 (2問)	63.8 (63.4)	0.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項 (3問)	76.1 (74.7)	1.4
思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと (3問)	82.1 (82.2)	-0.1
	B 書くこと (2問)	62.4 (63.2)	-0.8
	C 読むこと (4問)	63.9 (63.7)	0.2

【全国の結果との比較】

- ・ 「知識及び技能」の全ての内容について、全国平均正答率を上回っている。

④ 中学校3年 数学

(単位：%)

学習指導要領の領域	本県（全国）	全国との差（ポイント）
A 数と式（5問）	61.4（63.0）	-1.6
B 図形（3問）	31.8（33.2）	-1.4
C 関数（4問）	50.0（51.2）	-1.2
D データの活用（3問）	48.2（48.5）	-0.3

【全国の結果との比較】

- ・ 全ての領域において、全国平均正答率を下回っている。

⑤ 中学校3年 英語

(単位：%)

学習指導要領の領域	本県（全国）	全国との差（ポイント）
聞くこと（6問）	56.7（58.4）	-1.7
読むこと（6問）	49.4（51.2）	-1.8
話すこと（5問）		
書くこと（5問）	21.2（23.4）	-2.2

【全国の結果との比較】

- ・ 全ての領域において、全国平均正答率を下回っている。

※ 「話すこと」に関する調査の結果については、令和5年8月21日（月）に各都道府県教育委員会等、令和5年8月25日（金）に期間内実施校に提供される。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

※ 網掛けは、とちぎっ子学習状況調査の結果を示している。

ア 教科の学習について

「国語（算数・数学、英語）の授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年・教科	令和5年度（全国）	令和4年度（全国） 英語は平成31年度調査
小学校6年 国語	88.3（85.7）	87.3（84.0）
中学校3年 国語	82.9（80.0）	84.7（81.2）
小学校6年 算数	82.9（81.2）	82.6（81.2）
中学校3年 数学	74.1（73.3）	78.9（76.2）
中学校3年 英語	64.9（63.9）	66.6（66.0）

【全国の結果との比較】

- ・ 全ての学年・教科において、全国より高い結果となっており、特に、小学校・中学校ともに、国語の割合が2ポイント以上高い。

【令和4年度との比較】

- ・ 中学校では、国語と数学において、肯定的な回答の割合が低くなっている。

〈参考〉令和5（2023）年度とちぎっ子学習状況調査との関連

（単位：％）

学年	国語	算数・数学	英語
小学校4年	88.4	87.7	/
小学校5年	90.5	86.2	
小学校6年	88.3	82.9	
中学校2年	88.1	75.0	69.7
中学校3年	82.9	74.1	64.9

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 算数・数学、英語では、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が低くなっている。

イ 自尊心、夢や目標について

① 「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年	令和5年度（全国）	令和4年度（全国）
小学校6年	85.4（83.5）	81.5（79.3）
中学校3年	82.5（80.0）	80.9（78.5）

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では1.9ポイント、中学校では2.5ポイント高い。

【令和4年度との比較】

- ・ 小学校では3.9ポイント、中学校では1.6ポイント高くなっている。

〈参考〉令和5（2023）年度とちぎっ子学習状況調査との関連（単位：％）

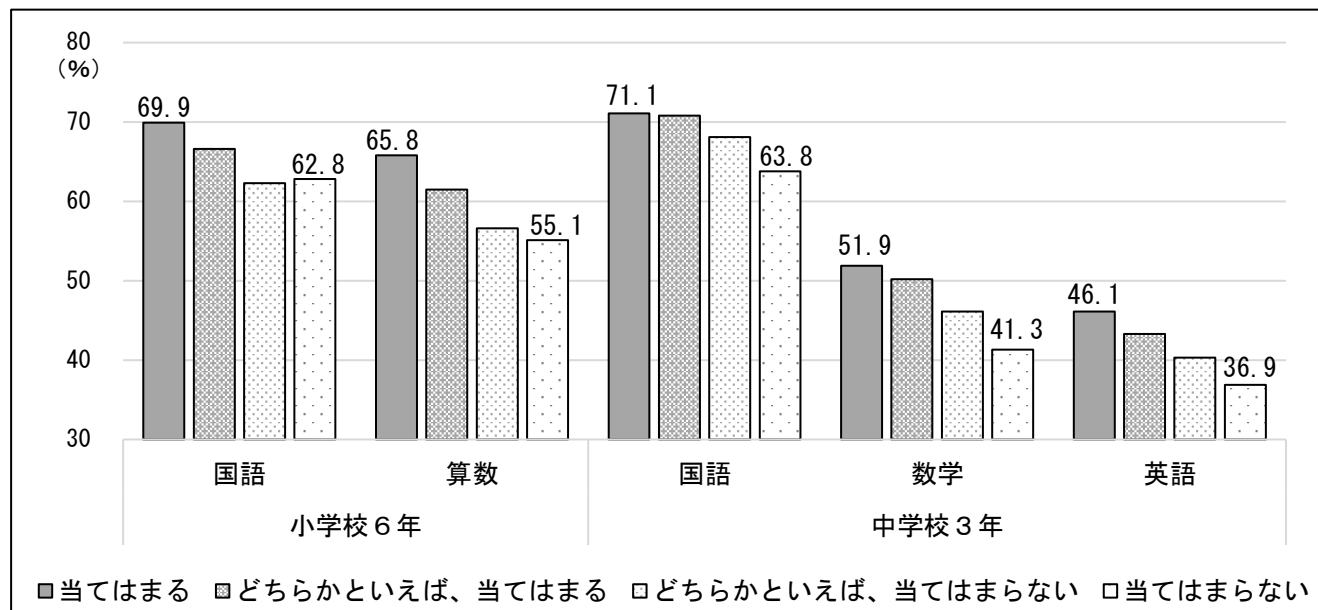
学年	肯定的回答の割合
小学校4年	80.8
小学校5年	79.7
小学校6年	85.4
中学校2年	75.8
中学校3年	82.5

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 小学校・中学校ともに、最高学年（小学校6年、中学校3年）の肯定的に回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。

※ 上記の質問に対する回答結果と教科平均正答率とのクロス集計結果

どの学年、教科においても、「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒は、「当てはまらない」と回答した児童生徒よりも平均正答率が高い。



② 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (単位：%)

学年	令和5年度 (全国)	令和4年度 (全国)
小学校 6年	93.5 (89.8)	92.1 (87.1)
中学校 3年	90.5 (87.3)	90.6 (86.6)

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では3.7ポイント、中学校では3.2ポイント高い。

【令和4年度との比較】

- ・ 小学校では1.4ポイント高く、中学校では0.1ポイント低くなっている。

③ 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」の質問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (単位：%)

学年	令和5年度 (全国)
小学校 6年	92.5 (91.0)
中学校 3年	88.0 (86.8)

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では1.5ポイント、中学校では1.2ポイント高い。

ウ 家庭学習について

- ① 「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。」の質問に対して回答した児童生徒の割合

（単位：％）

小学校6年	令和5年度（全国）	令和4年度（全国）
3時間以上	6.1（11.8）	5.8（11.3）
2時間以上、3時間より少ない	14.4（13.8）	15.6（13.8）
1時間以上、2時間より少ない	42.7（31.5）	46.5（34.3）
30分以上、1時間より少ない	26.5（26.9）	23.3（25.8）
30分より少ない	8.1（11.4）	6.7（10.5）
全くしない	2.1（4.6）	2.1（4.2）

中学校3年	令和5年度（全国）	令和4年度（全国）
3時間以上	7.1（10.3）	7.3（9.9）
2時間以上、3時間より少ない	26.3（23.4）	28.8（25.3）
1時間以上、2時間より少ない	37.2（32.1）	38.8（34.3）
30分以上、1時間より少ない	18.1（18.0）	15.7（17.0）
30分より少ない	7.2（9.9）	6.2（8.5）
全くしない	3.9（6.0）	3.2（4.9）

【全国の結果との比較】

- ・ 「3時間以上勉強している」 小学校では5.7ポイント、中学校では3.2ポイント低い。
- ・ 「2時間以上3時間より少ない」 小学校では0.6ポイント、中学校では2.9ポイント高い。
- ・ 「1時間以上2時間より少ない」 小学校では11.2ポイント、中学校では5.1ポイント高い。

【令和4年度との比較】

- ・ 小学校、中学校とも「1時間以上、3時間より少ない」児童生徒の割合は低くなっている。

〈参考〉令和5（2023）年度とちぎっ子学習状況調査との関連

（単位：％）

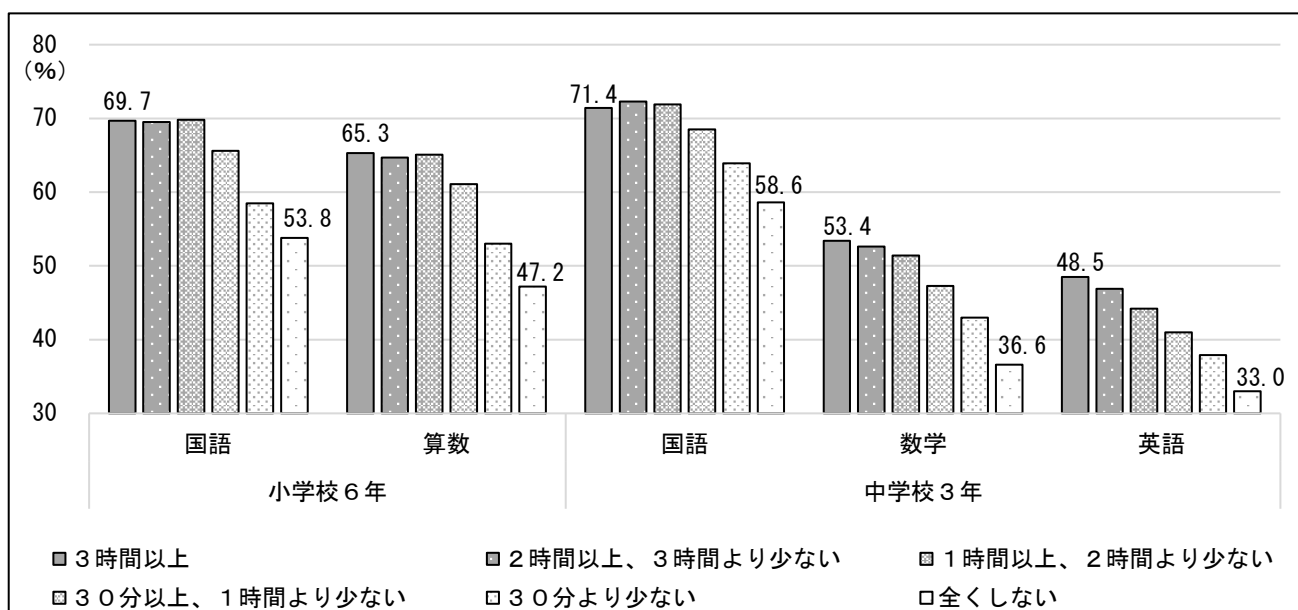
	小学校4年	小学校5年	小学校6年	中学校2年	中学校3年
3時間以上	5.4	4.4	6.1	5.8	7.1
2時間以上、3時間より少ない	10.0	11.3	14.4	22.1	26.3
1時間以上、2時間より少ない	28.0	37.3	42.7	40.4	37.2
30分以上、1時間より少ない	39.0	34.1	26.5	20.7	18.1
30分より少ない	14.1	10.2	8.1	7.6	7.2
全くしない	3.6	2.7	2.1	3.4	3.9

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 学年が上がるにつれて、「1時間以上、2時間より少ない」と「2時間以上、3時間より少ない」を合わせた児童生徒の割合は高くなる傾向が見られる。

※ 上記の質問に対する回答結果と教科平均正答率とのクロス集計結果

どの学年、教科においても、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、「1時間以上」と回答した児童生徒は、「30分以上、1時間より少ない」や「30分より少ない」、「全くしない」と回答した児童生徒よりも平均正答率が高い。



② 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。」の質問に対して、「よくしている」、「ときどきしている」と回答した児童生徒の割合（単位：％）

学年	令和5年度（全国）	令和4年度（全国）
小学校6年	76.1（70.7）	76.9（71.1）
中学校3年	62.1（55.0）	65.0（58.5）

【全国の結果との比較】

- ・ 小学校では5.4ポイント、中学校では7.1ポイント高い。

【令和4年度との比較】

- ・ 小学校では0.8ポイント、中学校では2.9ポイント低くなっている。

〈参考〉令和5（2023）年度とちぎっ子学習状況調査との関連（単位：％）

学年	肯定的回答の割合
小学校4年	70.4
小学校5年	71.6
小学校6年	76.1
中学校2年	63.6
中学校3年	62.1

【とちぎっ子学習状況調査との関連】

- ・ 小学校6年において最も高く、76.1％である。

※ 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対する回答結果と勉強時間との関連（中学校3年）

上記の質問に対して「よくしている」と回答している生徒の中の57.1%の生徒が「2時間以上」勉強していると回答し、35.0%の生徒が同様に「1時間以上、2時間より少ない」と回答している。

逆に、上記の質問に対して「全くしていない」と回答している生徒の中の27.9%の生徒は同様に、「30分より少ない、全くしない」と回答している。

